

本邦における心血管インターベンションの実態調査（J-PCI）

1. 研究の対象

川崎市立井田病院で冠動脈形成術を受けられた方（期間：2019.1.1～2027.3.30）

2. 研究目的・方法

冠動脈形成術は虚血性心疾患の診療において極めて重要な治療法であり、我が国でも多く実施されています。しかし、年間施行症例数、術成功率、合併症発生率等、正確に把握できていないのが現状です。

日本心血管インターベンション治療学会では、経皮的カテーテルインターベンション術（以下、PCI）をおこなった患者様の診療録を使用、解析することで、冠動脈形成術の課題を明らかにし、PCIがさらに有効な治療法に発展することを目的として、本研究を実施いたします。

「研究期間」：2019年1月1日～2027年3月30日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、服薬内容、採血結果、カテーテル治療内容、合併症の有無、PCI後の予後調査 等

4. 外部への情報の提供

カルテ情報は、National Clinical Databaseに登録します。

データの提供は個人が特定できないような形で、また、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。

5. 研究組織

日本心血管インターベンション治療学会会員が在籍する約_1000施設

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者：

循環器内科 部長

好本 達司

〒210-0013 川崎市中原区井田 2-27-1

電話 044-766-2188

研究代表者：

東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科教授

日本心血管インターベンション治療学会 理事長

中村 正人

以上